

国語科におけるインタラクティブな授業の実践研究

八尾市立教育サポートセンター 指導主事 浅野 隆史

joho@sch.city.yao.osaka.jp

キーワード：インタラクティブ、デジタルコンテンツ、デジタル教材、e-japan 重点計画

1. はじめに

本市では、平成 14 年度に市役所と学校園を含む施設を光ファイバーによる高速ネットワークで結ぶ「地域イントラネット」を整備し、教育情報センターのサーバから約 5 万点におよぶデジタルコンテンツを配信している。また市立学校においては、いつでも、どこでもネットワークに接続できるよう校内 LAN の整備を完了している。また、各学校のコンピュータ室には電子情報ボードを導入し、市立学校における「教育の情報化」を推進している。

2. 研究の概要

(1) 目的

「e-japan 重点計画」の「学校教育の情報化推進計画」で示されている「すべての学校の全ての学級のあらゆる授業において教員および生徒がコンピュータやインターネット活用できる環境」は、本市においては実現することができた。そして「e-japan 重点計画」の最終年度である本年度の目標は、教職員によるコンピュータを使った授業をすべての授業で実現することである。この実践研究はその目標実現のため、学校の教職員に「デジタル教材」を使った授業イメージを提供することを目的としておこなう。

(2) 内容

「デジタル教材」を使った授業は、理科における教材提示型コンテンツや算数における計算ソフト等に関するものが多い。このことは「デジタル教材」の種類について、教科によるかたよがりがあることが影響していると考えられる。本市においては、平成 15・16 年度に「理科」における実践研究を集中的に実施してきた。そして本実践研究においては、国語における「デジタル教材」を使った授業に関する研究を実施するため、教材提示型の「国語科デジタル教科書」を活用した実践授業を実施し、その実践事例（指導案レシピ等）を蓄積し公開していく。

(3) 研究体制

学校教育情報化推進指定校（3 校）

八尾市立教育サポートセンター研究協力員（IT 活用部会）在籍校（2 校）

3. 実践内容

3.1 八尾市立刑部小学校（1 年国語「くじらぐも」）平成 17 年 10 月 28 日公開授業実施

「くじらぐも」は、青い空に浮かぶ真っ白い雲に乗って旅をしてみたいという子どもたちの夢が、物語の中で実現するというファンタジー作品である。この教材では、子どもたちにとって作品をイメージ豊かに読む力を育む機会となるものである。今回の実践では、導入段階で教科書の挿絵（写真 2）をプロジェクターでスクリーンに映し出した。子どもたちの視線は、スクリーンと授業者に向けられ、相互に交流をはかりながら授業が進められた。大きく写されたデジタル教材を使用することによって、個々の子どもたちがより鮮明なイメージを持つことができた授業であった。

柿本幸造



写真 1 授業の様子 1



写真 2 デジタル教材 1

3.2 八尾市立大正北小学校（5 年国語「物語を作ろう」）平成 18 年 1 月 31 日公開授業実施

前時までの学習では、子どもたち一人ひとりが教科書の写真を見て物語を作り、互いに交流した。本時では、そのとき学習した「起承転結」のそれぞれについて 4 枚の写真（写真 4）が提示され、「リレー作文」の授業が始まった。子どもたちは、スクリーンに映し出された 4 枚の写真からイメージを膨らませ、連想できる言葉をワークシートに書き出した。



写真 3 授業の様子 2



写真 4 デジタル教材 2

4. 課題

来年度は中学校の教科書が新しくなるが、「デジタル教材」を使った授業の展開において、中学校における「デジタル教材」の活用をいかに普及させるかが今後の課題である。